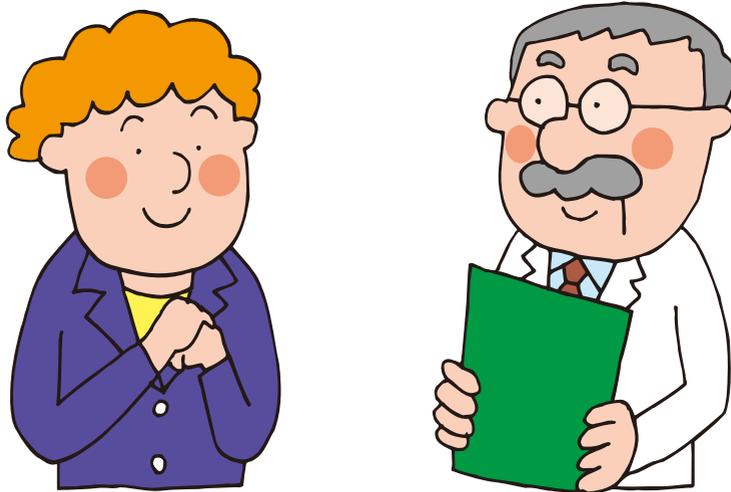


関節リウマチ患者のみなさまへ

プログラムという お薬について

特徴と服用にあたっての注意点



監修：東京医科歯科大学 名誉教授

宮坂 信之 先生

はじめに

関節リウマチの治療法には薬物療法、手術療法、リハビリテーションなどがあり、症状に応じてこれらを組み合わせて治療が行われます。中でも薬物療法は治療の中心となっており、関節の炎症や痛みを抑えるためには不可欠です。

関節リウマチの原因はいまだ不明ですが、免疫異常により関節に炎症が起こり、痛みや腫れ、変形を引き起こすといわれています。

プロGRAFは、このような異常を起こした免疫のはたらきを抑えることにより、関節リウマチの症状を改善する薬剤です。

この小冊子では、プロGRAFの特徴や服用にあたっての注意点などを紹介していますので、プロGRAFを服用される前によくお読みいただき、わからないことがありましたら主治医にご相談ください。

もくじ

はじめに	1
関節リウマチの治療	2
プロGRAFという薬剤について	3
プロGRAFを服用する前に	5
プロGRAF服用にあたっての注意点	7
プロGRAFの用法・用量	8
プロGRAFの副作用	9
関節リウマチと上手につきあうために	10

関節リウマチの治療

■ 治療の目的

- ① 関節の痛みを軽くする。
- ② 異常な免疫のはたらきを抑え、炎症の悪化を防ぐ。
- ③ 関節のはたらきを維持・強化する。手術により関節の機能をとりもどす。
- ④ 関節の変形を防ぐ。
- ⑤ 生活の質（QOL）を維持・向上させる。

最終目的は、関節破壊の防止です。

■ 薬剤による治療

関節リウマチの治療に使用される薬剤には以下のようなものがあります。

非ステロイド性 抗炎症薬

痛みや炎症を抑えるための薬剤です。

ステロイド

強力な抗炎症作用と免疫抑制作用があります。

抗リウマチ薬

免疫異常を改善し、病気の進行を抑えます。

生物学的製剤

炎症の悪化や関節の破壊を促進するサイトカインを抑制します。

それぞれの薬剤は作用のメカニズムが異なり、使い方も違います。副作用も、軽いものから重いものまでさまざまなものが知られていますので、主治医の指示を守って正しく使用することが重要です。

プロGRAFという薬剤について

■ プロGRAF(一般名タクロリムス)とは?

免疫抑制剤に分類される抗リウマチ薬の1つです。

異常を起こした免疫のはたらきを抑え、関節の腫れ、痛み、こわばりなどの症状を改善します。

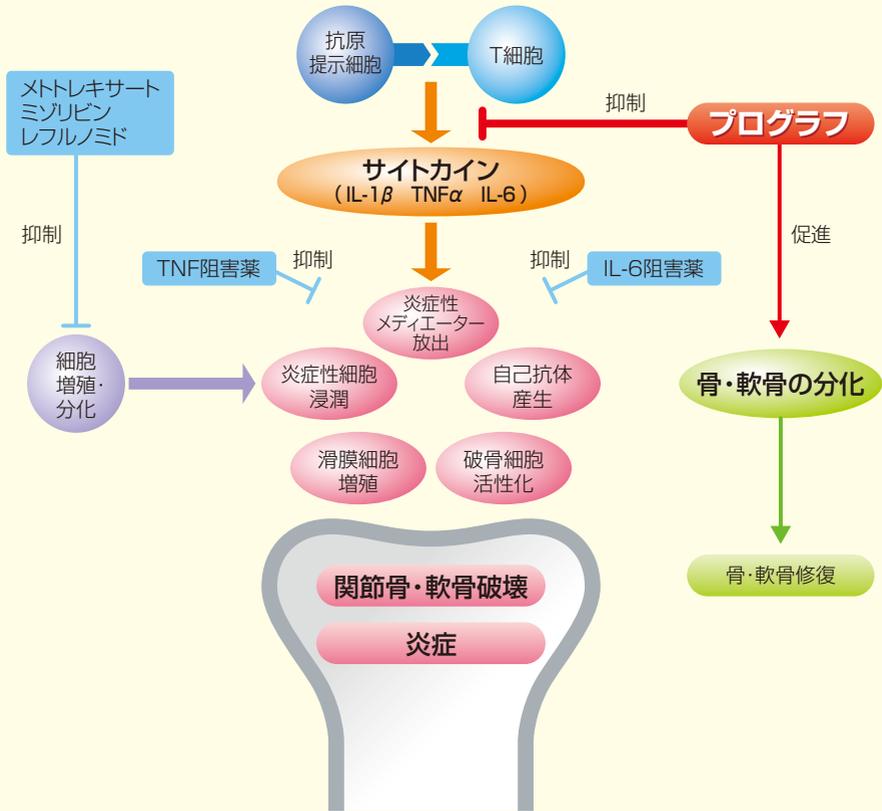
- 関節の炎症や骨・軟骨破壊の原因物質サイトカインをできにくくすることで、炎症を抑える。
-

- 他の抗リウマチ薬が無効な患者さんにも有効な場合があるとの報告がある。
-

- 1日1回の内服薬。
-

- 有効成分タクロリムスは、1984年、日本の土壌から採取された放線菌の産生物より発見された。

関節リウマチに対する薬剤の作用点



IL-1 β : インターロイキン-1 β

TNF α : 腫瘍壊死因子 α

IL-6 : インターロイキン-6

プログラフを服用する前に

次のような場合は、服用前に必ず主治医にお伝えください。服用中も気になる

以前にお薬を飲んで
アレルギー症状(発疹など)が
でたことがある。



このような患者さんでは、プログラフでアレルギーが起こる可能性があります。

肝臓の病気、
腎臓の病気、
感染症にかかっている。



このような場合、プログラフは注意して使用する必要があります。

ほかにお薬を服用している
(薬局で買ったお薬も)。

プログラフを併用すると、お薬の作用が強くなったり、弱くなったりすることがあります。



ことがありましたら、すぐ主治医にご相談ください。

妊娠しているまたは その可能性がある。



このような場合、治療上の有益性が危険性を上回ると主治医が判断された際にのみ服用できます。

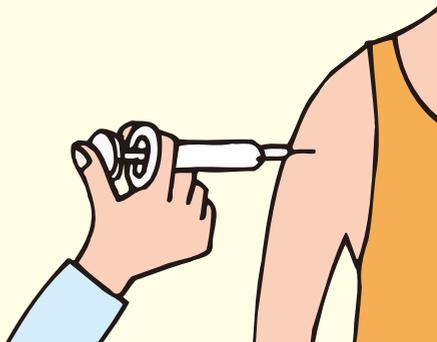
授乳中である。



プログラフ使用中は、授乳しないことが望ましい。

予防接種を受ける 予定がある。

プログラフを使用していると、免疫を抑制するので注意が必要です。プログラフ使用中、生ワクチンは使用できません。



プログラフ服用にあたっての注意点

必ず主治医の指示に従い、処方されたご本人のみ、正しく服用してください。
プログラフは、服用する直前に包装から取り出して服用してください。

自分の判断で量や回数を変更したり、服用を中止したりしない。

勝手にお薬の服用を止めたりすると、症状が悪くなることがあります。

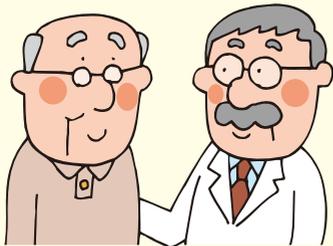
服用し忘れた場合

次の服用時間に1回分を服用するようにしてください。

絶対に、2回分をまとめて一度に服用しないでください。

高齢者の方の場合

からだの機能が低下していることがあるので、とくに主治医の指示を守りましょう。



誤って多く服用した場合

すぐに主治医または薬剤師に相談しましょう。



グレープフルーツ(ジュース)や一部のかんきつ類(ブタン、ハッサクなど)と一緒に服用しない。

一緒に服用すると、プログラフの作用が強くなる可能性があります。



セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む健康食品と一緒に服用しない。

一緒に服用すると、プログラフの作用が弱くなる可能性があります。



プログラフの用法・用量

必ず主治医が指示した方法に従って、コップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用してください。

成人 1日3mgです。

高齢者 1日1.5mgからはじめ、
症状により3mgまで増やすことができます。

1日1回夕食後に服用です。

プログラフカプセル 0.5mg



カプセル本体
(実物大)

PTPシート



おもて

うら

プログラフカプセル 1mg



カプセル本体
(実物大)

PTPシート



おもて

うら

プログラムの副作用

次のような副作用があらわれる可能性があります。

主な副作用

- 腎機能検査値異常 (BUN上昇、クレアチニン上昇など)
- 消化管障害 (腹痛、下痢、悪心など)
- 耐糖能異常 (HbA1c上昇、血糖上昇など)

気になる症状があらわれた場合は、
すぐに主治医に相談しましょう。

- 熱や咳がでる
- 頭痛
- 息苦しさ
- けいれん
- 腹部不快感
- 胸がドキドキする・痛い
- 下痢
- 発疹
- はき気・嘔吐
- かゆみ
- 胃痛・腹痛
- ほてり
- 血圧が高くなる
- 脱毛



BUN (血中尿素窒素) とは？

タンパク質の最終的な代謝物。肝臓や腎臓に障害があると、血液中の量が増加する。

クレアチニンとは？

筋肉を動かすときに生じる老廃物で、血液に吸収され、腎臓から尿中へ排出される。腎臓の機能が低下すると、血液中の量が増加する。

耐糖能異常とは？

インスリンの分泌に異常を生じ、血液中の糖濃度が高くなった状態をいう。

HbA1c (ヘモグロビンA1c) とは？

酸素を運搬する血液色素ヘモグロビンの1種。血糖コントロールの指標とされ、耐糖能に異常が起こると増加する。

関節リウマチと上手につきあうために

■ 日常生活における注意点

病気についての正しい知識をもち、
自分の病状やこれまでの経過を把握しましょう。

主治医の指示に従い、治療は根気よく続けましょう。
勝手にお薬の服用やリハビリを止めないようにしましょう。

できる範囲で適度に運動しましょう。
痛みがひどいときは安静にし、十分な睡眠をとりましょう。

笑って楽しく過ごし、
ストレスをためないようにしましょう。

自助具の活用など、関節に負担をかけないで
快適に過ごすための工夫をしましょう。

規則正しくバランスのよい食事を
心がけましょう。



緊急時連絡先

病医院名

監修者の所属・役職は2023年4月改訂版作成時のものです。